

刈谷市議会新型コロナウイルス感染症対策支援本部 提言書の提出により、施策を実現 !!



稻垣市長に提言書を手渡す外山対策支援本部長（議長）と 清水対策支援副本部長（副議長）【10月5日】

(3回目) (市長宛て)

新型コロナウイルス感染症対策に関する提言書

1 次の感染流行の波に備え、過去2回の提言事項を踏まえた取組を実施・拡充するとともに、議決された予算については有効かつ着実に執行すること。

2 様々な行動自粛や行動変容に伴う精神的ストレスの蓄積に加え、流行が長期化する中でメンタルヘルスの悪化が懸念されることから、実態把握に努めるとともに、自死防止対策の強化や相談体制の充実を図ること。

3 感染症と自然災害による複合災害への備えとして分散避難の重要性を市民に周知するとともに、防災備蓄品や避難所運営マニュアルの見直しを早急に進めること。

4 国が年内に策定予定の「自治体デジタルトランスフォーメーション（DX）推進計画」の動向を踏まえ、行政の手続きのオンライン化やシステム標準化など行政のデジタル化を積極的に推進し、住民の利便性の向上を目指すこと。

市議会の提言により実現した支援策



感染拡大は、日本のデジタル化の遅れを浮き彫りにしました。政府は、今年「デジタル庁」の創設など、デジタル社会の構築に向けた取組を加速させます。刈谷市議会においても3回目の提出となる新型コロナウイルス感染症対策に関する提言書に

◆昨年1月中旬に国内で新型コロナウイルス感染症が確認されてから、1年が経過しました。長期にわたる市民及び事業者の皆様の感染予防対策に対する御理解と御協力に、心より感謝申し上げます。今年は、国内でもワクチン接種が開始される予定です。一日も早いコロナ禍の収束と皆様の御健康をお祈りいたします。

編集後記

かけはし

「行政のデジタル化を積極的に進める、住民の利便性の向上を

- ・市対策本部との連携・情報共有
- ・市対策本部への要望・提言

◎活動内容

副本部長・議長
副本部長・副議長
本部役員・会派代表者
本部員・その他の議員

目
次

4月14日午前9時をもつて刈谷市議会としての対策支援本部を設置しま

令和2年4月10日に愛知県知事から、緊急事態宣言が発出されたことに鑑み、刈谷市議会災害対応マニュアル（平成29年6月策定）に基づき、

刈谷市議会新型コロナ

感染症
対策支援本部